

安全データシート (SDS)

作成 2009 年 7 月 13 日

改訂 2019 年 5 月 16 日 (第 3 版)

1. 製品及び会社情報

製品名 : L-Hydroxyproline (製品コード 2711)

製造者 : 株式会社ペプチド研究所

住所 : 大阪府茨木市彩都あさぎ 7 丁目 2 番 9 号

電話番号 : 072-643-4411

FAX 番号 : 072-643-4422

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 分類基準に該当しない

その他の危険有害性 : データなし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品

化学名 : L-Hydroxyproline

化学式、分子量 : $C_5H_9NO_3$ (M.W. 131.13)

官報公示整理番号

化審法 : (9)-1628

安衛法 : -

CAS Registry Number : 51-35-4

EINECS No. : 200-091-9

TSCA 登録 : 有り

国連番号及び国連分類 : 危険物に該当しない

4. 応急措置

吸入した場合 :

空気の新鮮な場所に移し安静にする。清浄な水で口内と鼻腔を十分に洗浄し、医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合 :

触れた部位を多量の水で洗い流す。必要であれば医師の手当てを受ける。

眼に入った場合 :

直ちに流水で 15 分以上洗眼する。必要であれば医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合 :

清浄な水で口の中を洗浄し、必要に応じ医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : 水スプレー、二酸化炭素、粉末消火剤など

特有の消火方法 : 通常の火災時の消火方法に準ずる。

消火を行う者の保護：消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：

直接人体に触れないように防塵マスク、保護メガネ、保護手袋、保護衣を必要に応じて着用する。

環境に対する注意事項：

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材：

漏出したものをすくいとり、又は掃き集めて紙袋又はドラム等に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：直接人体に触れないようにする。

保管：密封して直射日光を避け冷所に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策：特に必要としない。

許容濃度：データなし

保護具：防塵マスク、保護メガネ、保護手袋、保護衣を必要に応じて着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観等：白色の結晶又は、白色の結晶性粉末

溶解性：水に可溶

比旋光度： $[\alpha]_D$ -74.0° ~ -77.0°

10. 安定性及び反応性

安定性：データなし

反応性：データなし

11. 有害性情報

急性毒性：データなし

皮膚腐食性及び皮膚刺激性：データなし

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性：データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性：データなし

生殖細胞変異原性：データなし

発がん性：データなし

生殖毒性：データなし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）：データなし

特定標的臓器毒性（反復ばく露）：データなし

吸引性呼吸器有害性：データなし

12. 環境影響情報

生態毒性：データなし

残留性・分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

土壌中の移動性：データなし

13. 廃棄上の注意

適用される条例、政令等に従う。

14. 輸送上の注意

国連番号及び国連分類：危険物に該当しない。

冷蔵輸送が望ましい。

容器の破損、漏れがないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

取扱い及び保管上の注意事項の記載にも注意する。

15. 適用法令

該当なし

16. その他の情報

引用・参考文献

1. GHS 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針 2012 年 6 月
(一般社団法人 日本化学工業協会)
2. JIS Z 7253 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS) (一般財団法人 日本規格協会)
3. 独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE) のウェブサイト
記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合は用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって保証するものではありません。